

MITA

水島ポートニュース

Mizushima International Trade Association

2017/6/30

Vol. **60**



特 集

水島港臨港道路開通 ～MITAは20周年を迎えました～



Contents

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| ・水島港臨港道路開通 | ・新晴れの国おかやま生き活きプラン |
| ・東京で水島港セミナー開催 | ・玉島HIガントリークレーン移設 |
| ・倉敷市50周年記念事業 | ・2016年コンテナ取扱貨物量(速報値) |
| ・水島港国際物流ターミナル整備事業 | ・水島港玉島ハーバーアイランドへ新造船就航相次ぐ |
| ・玉島HI新規企業立地 | ・第7回玉島ハーバーフェスティバルへ初参加 |

水島港臨港道路（倉敷みなと大橋）が供用開始されました！



伊原木県知事 式辞の様子

倉敷みなと大橋は平成20年に国直轄で事業化され、MITAとしては、早期完成に向けた国への要望活動を行ってまいりましたが、平成29年3月25日（土）から供用が開始されました。

当日、水島愛あいサロンで開催された開通式典には、地元選出国会議員の方々をはじめ約200名が出席しました。

まず、主催者を代表して伊原本隆太岡山県知事と伊東香織倉敷市長が式辞を述べ、国土交通省大臣官房技術参事官の挨拶に続き、国会議員の方々からの祝辞があり、工事を担当した宇野港湾事務所長が事業経過報告を行いました。

その後、出席者は倉敷みなと大橋の上に乗バスで移動し、地元小学生も加わったテープカット、くす玉開披に続き、水島で製造される自動車や物流業者のトラックなども参加した自動車によるパレードを行い、待ち望んだ開通を祝いました。

この橋の開通により、生産拠点である水島と物流拠点である玉島とが、より短時間で結ばれることで



玉島商業高校 玉商紅太鼓の演奏

では今後も、水島港の発展につながる事業に対する要望活動を実施してまいりたいと考えておりますので、会員の皆様にも引き続きご協力をお願いいたします。



渡り初めをするパレード参加車輛



空撮／倉敷みなと大橋

会員の声

倉敷みなと大橋の開通後の状況について、倉敷運輸(株)港湾業務部長の水川成二さんにお伺いしました。

当社では、水島港における港湾運送事業、倉庫業、貨物自動車運送事業、産業廃棄物収集運搬事業等を行っています。

倉敷みなと大橋の開通により、水島・玉島間の貨物輸送において、走行距離が大きく短縮されたこと、通行車両が分散し渋滞が解消されたことで、輸送効率が向上しました。また、出勤地である水島から作業場所である玉島までの移動時間が約40分から30分に10分程度短縮され、作業者の出勤時間（早出）を遅らせることができました。

水玉ブリッジラインにおける朝夕の通勤時間帯の渋滞が劇的に解消され、気持ちにゆとりができたことで、交通事故防止にもつながると思います。



倉敷運輸(株)港湾業務部長/水川成二さん

東京で水島港セミナー開催！！

最寄り港利用の利点をPR

平成29年1月31日（火）、東京都文京区関口のホテル椿山荘東京において、19回目となる水島港セミナーを開催しました。佐藤副知事の開会挨拶で始まったセミナーでは、在京の船会社、物流・荷主企業など約260人の参加者に対して、三村土木部長がプレゼンターとして、水島港の利便性、利用社に対する支援制度、現在の整備状況と今後の整備方針等を説明するとともに一層の利用促進を働きかけました。

また、水島港国際物流センター株式会社の杉副社長からは、コンテナターミナルの概要及び運営状況について説明をいただきました。

水島港立地企業の立場からは、日本コンセプト株式会社の幸地営業第一副部長に『日本コンセプト（国内外を問わない水島拠点の新たな液体物流サービスの提供』と題して、自社の事業展開方針に照らし、水島港の拠点性、将来性に着目して支店を設置した経緯などについて講演をいただきました。

セミナー後に開催されたレセプションでは、逢沢一郎衆議院議員、池田道孝衆議院議員、津村啓介衆議院議員、橋本岳衆議院議員、山下



ホテル椿山荘での水島港セミナーの様子

「倉敷市」50周年記念式典を開催しました。



50周年記念式典市長あいさつ

府の直轄地である天領となつて以降、物資を運ぶための運河を利用した水運・海運に始まります。

その後干拓により市域を拡大し、綿花やい草の栽培で農業地域として栄えました。昭和に入ると、水島港の浚渫土を利用した工業用地に水島コンビナートが形成され、日本有数の工業地帯として大きな飛躍を遂げ、今日に至ります。これからも水島港と共に歩んでいく倉敷市をどうぞよろしく願います。



市歌斉唱



高校生の書道パフォーマンス



市民による「ふるさと」合唱

倉敷コットンプロジェクト

平成29年度は「倉敷市」50周年記念として、さまざまな事業が実施されていますが、その中でも、江戸時代の干拓によって栄えた綿花栽培を通じて、倉敷の成り立ちを振り返るイベントをご紹介します。ぜひ、ご参加ください。



コットンプロジェクト フラワーフィールド(玉島E地区)での種植えイベントの様様



「倉敷市」50周年記念

く地域を紡ぐく

くらしきコットンプロジェクト

今から400年前、現在の倉敷市は、大小の島々が浮かぶ浅海でした。江戸時代の干拓で陸続きになると、綿花の栽培が盛んになり、綿から糸を作る紡績業で栄えた「倉敷」、今では日本一の繊維産地になった「児島」、綿の出荷でにぎわった港町「玉島」と、綿花はまちの成り立ちに深く関わってきました。

今回、倉敷・児島・玉島の旧3市が合併して50周年を迎えたのを記念して、市民の皆さんに育てていただいた綿から市の特産品である「ジーンズ」をつくり、綿花からはじまった「まちと産業の歴史」に親しんでいただく様々なイベントを実施しております。



HP:「くらしきコットンプロジェクト」で検索

問合せ:倉敷市文化産業局商工労働部商工課

☎(086)426-3405

Mail:cmind-08@city.kurashiki.okayama.jp

水島港国際物流ターミナル整備事業



水島港国際物流ターミナル整備事業が新規採択!

国土交通省の平成29年度予算で、水島港国際物流ターミナル整備事業が新規採択されました。

水島港は平成23年5月に「国際バルク戦略港湾」に選定され、以降、穀物関連企業の立地が相次ぎ、食料コンビナートが形成され、近畿・中国・四国地方二円の穀物の輸入拠点として重要な役割を果たしています。

今回の事業では、中国、四国地方等の畜産業における配合飼料の原料等として用いられる穀物の企業間連携による大型穀物船を活用した共同輸送の進展に対応するため、水島港水島地区及び玉島地区において、港湾施設の整備を行うものです。

事業完了後は、大型船舶が入港可能となり、地区間の共同輸送を行うことにより、海上輸送コストの削減が期待されます。

国際バルク戦略港湾の早期事業化については、当協議会としても要望活動を行ってききました。今後も、引き続き当事業による整備促進について要望活動を実施していきたいと考えています。

<事業概要>

【整備内容】

水島地区／
岸壁(水深14m)(改良)、航路及び泊地(水深14m)
玉島地区／
岸壁(水深12m)、航路及び泊地(水深12m)、埠頭用地、荷役機械

【事業期間】

平成29年度～平成33年度

【総事業費】

259億円(うち、港湾整備事業費/224億円)

玉島HI新規企業立地



玉島ハーバーアイランド空撮写真

玉島ハーバーアイランドへの企業立地が決定しました

玉島ハーバーアイランドに株式会社明治、岐阜プラスチック工業株式会社及びシーアール物流株式会社が立地することが決定し、平成29年5月30日に発表しました。

株式会社明治は国内外の販売増により、生産・物流機能を拡大させるため、岐阜プラスチック工業株式会社は西日本の生産拠点として、シーアール物流株式会社は主要な取引先の業務拡大に対応するため、当地区に進出することとなりました。

今回の立地による分譲面積は約11.4ha(全体で26社64.6ha)であり、残り24.1haの分譲に向け、地元倉敷市やMITAと連携し、全力で誘致活動に取り組んでまいります。

(岡山県企業誘致・投資促進課)

新晴れの国おかやま生き生きプラン

「新晴れの国おかやま生き生きプラン」を策定

岡山県では、県政において最上位に位置付けられる総合的な計画「新晴れの国おかやま生き生きプラン」を平成29年3月に策定しました。

このプランは、将来の目指すべき岡山の姿を描く長期構想と、平成32年度までの4年間で取り組む重点戦略や施策を盛り込んだ行動計画からなります。このプランを県政推進の羅針盤として、すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き生き岡山」の実現を目指します。

平成32年度までに重点的に取り組む行動計画として、「教育県岡山の復活」「地域を支える産業の振興」「安心で豊かさが実感できる地域の創造」の3つを重点戦略として位置づけるとともに、おかやま創生実現の加速に向け、「連携」をキーワードとした新たなプロジェクトに取り組む「おかやま創生連携プロジェクト」を設けています。

水島港の関係では、「地域を支える産業の振興」の中に「企業誘致・促進プログラム」を設け、平成32年度までの達成目標となる「生き生き指標」として、全国の製造品出荷額等に占める水島工業地帯の割合1.51%(H26年は1.43%)、水島港における国際コンテナ取扱個数177千TEU/年(H27年度は156千TEU)を設定しています。

この目標を実現するための重点施策として「水島コンビナートの国際競争力強化」を掲げ、国内最大級の素材供給基地であり、本県産業の中核を担う水島コンビナートを、アジア有数の競争力を持つ我が国のモデルコンビナートとしてさらに発展させるため、研究開発から量産に至る一連の機能を有する拠点工場(マザー工場)の集積地となるよう投資環境を整備していきます。

同じく「水島港の機能強化」として、国際バルク戦略港湾関連施設の整備、水島東航路の浚渫など、水島港の機能強化を図るとともに、水島港インターナショナルトレード協議会と連携してポートセーラズを実施し、水島港の利用促進に努めてまいります。

皆様方をはじめ、さまざまな主体と連携を図りながら、「生き生き岡山」の実現に向け、全力で取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

(岡山県政策推進課)



新晴れの国おかやま生き生きプラン冊子表紙

玉島HIガントリークレーン移設



移設後のコンテナターミナル



移動中のクレーン②



移動中のクレーン①

(岡山県港湾課)

玉島ハーバーアイランド4号埠頭のクレーンを移設！

平成29年2月、玉島ハーバーアイランド4号埠頭のガントリークレーン(定格荷重42t／9列5段)を、取扱荷物が増加している水島港国際コンテナターミナル(6号埠頭)に移設しました。

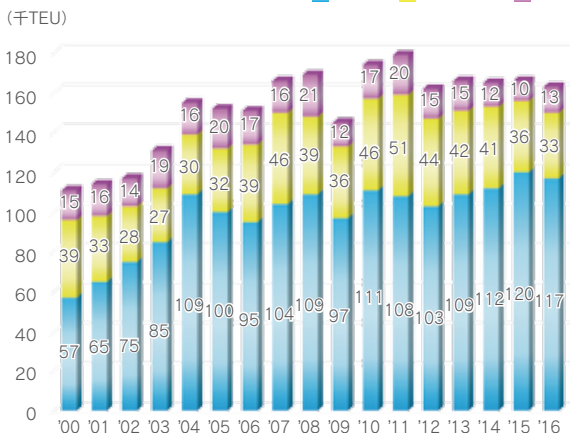
2月8日(水)に本体の移設が完了し、電気工事、試運転等調整を行った後、4月1日(土)から運用を開始しました。今回の移設により、同ターミナルのガントリークレーンは4基体制となり荷役作業の効率が大幅に高まることが期待されます。

2016コンテナ取扱貨物量(速報値)

平成28年の取扱貨物量速報値を見る

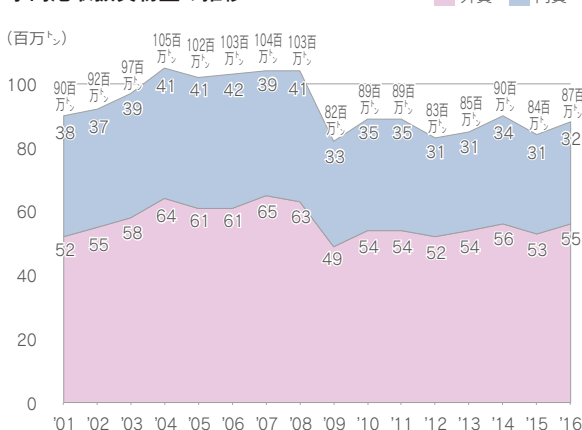
コンテナ貨物取扱量の推移

■ 外貨 ■ フィーダー ■ 内貨



水島港取扱貨物量の推移

■ 外貨 ■ 内貨



次に、水島港のコンテナ貨物取扱量(速報値)ですが、前年より若干減少した16万3千TEUでした。景気が足踏み状態にある中、16万TEUを堅持できている状況です。内訳として、外貨

があり、昨年水島港を利用いただきありがとうございます。

平成28年の水島港の総取扱貨物量速報値は、前年の8,400万トンと比べて300万トン増加した8,700万トンでした。主に輸入と移出が増加しており、輸入品目としては、原油と鉄鉱石、移出品目としては石油製品の増加が顕著でした。この総取扱貨物量8,700万トンという結果は、前年の貨物量見合いで、全国第7位となる高水準であり(前年は第9位)、取扱貨物量の回復の兆しが見えてきた状況です。MITA会員の皆様には、昨年も水島港を利用いただきありがとうございます。

岡山県としても、引き続き、東京セミナーを初めとしたポートセールスや、新たなインセンティブ制度の構築などを視野に入れ、水島港の振興に尽力していきます。MITA会員の皆様には、ますますの水島港のご利用をお願いするとともに、今後の取扱量の増加に期待するところです。

(岡山県港湾課)

【港湾統計】データからみる水島港のいま

コンテナが減少していますが、空コンテナの取扱が減少したことによるものであり、実入コンテナの取扱量では前年より増加しております。なお、近年の傾向として、中継港を経由せず、水島港からダイレクトに外国とを結ぶ外貨コンテナ航路が年々増加しているため、国際フィーダーが減少傾向に、外貨コンテナは増加傾向にあります。

水島港玉島ハーバーアイランドへ新造船就航相次ぐ



日昇丸全景



島野船長へ水島港国際物流センター杉副社長より記念プレート贈呈

内海造船(株)瀬戸田工場で建造された自動車専用船・日昇丸(積貨重量4996トン、積載数量は車両900台/13mトレイラ52両)が完成就航し、平成29年5月16日に水島港玉島ハーバーアイランド4号埠頭に初入港しました。当日、島野船長に水島港国際物流センター(株)より花束及び記念プレートを贈りお祝いしました。その後、関係者27名が日ごろ見ることの出来ない最新設備の整ったブリッジや船内各施設の見学を行いました。

この日昇丸は、環境負荷が少ない荷役効率改善型RORO船として最新技術を取り入れた環境にやさしい運航性能が高い船で、船内も広く効率よく車両の積み卸しが出来るので、今後の水島港玉島ハーバーアイランドにおける自動車取扱量の増加も期待される所です。



SCARLET ARROWの全景

中国との外貿定期航路(日本→中国)の内、週1便(火曜日)神原汽船(株)(本社:広島県福山市)の運航により、寄港しているコンテナ船CONTRACT R LSKYが入替えになり新たにSCARLET ARROW(積載能力1020TEU)が、平成29年5月23日に玉島ハーバーアイランド水島港国際コンテナターミナルに初入港しました。

当日は、水島港国際物流センター会議室にて、水島港就航記念式をおこない、ワン・ピン船長に水島港国際物流センター(株)より花束及び記念プレートを贈呈しました。また、水島港船舶代理店をしている日本通運(株)水島海運支店・藤井支店長からも記念品を贈りお祝いしました。

(水島港国際物流センター)

Information

○MITA設立20周年記念事業について

今年、MITAは設立20周年を迎えました。日本港湾振興団体連合会から助成金もいただき、秋に記念事業を実施する予定です。会員の皆様には、概要が決定次第ご案内を差し上げます。

○記事募集

MITAでは、水島ポートニュースに掲載する記事を会員の皆様から募集しています。

年間の発行は概ね6月、11月及び3月で、水島港の振興に関連するイベントやニュースなどを想定しています。詳細は事務局までご相談ください。

今号の表紙

倉敷みなと大橋で開催された祝賀行事で、来賓、乙島東小学校及び連島南小学校の児童の皆さんがテープカットとくす玉開披を行う様子です。

第7回玉島ハーバーフェスティバルへ初参加

平成29年5月13日、水島港国際物流センター(株)は、玉島4号埠頭において開催された、第7回玉島ハーバーフェスティバルへ初参加しました。この玉島ハーバーフェスティバルは、平成18年から2年に1度、水島港玉島地区の繁栄を祈念し、市民の防災・防衛意識の高揚と地元の物産などをPRすることを目的に定期的に開催されており、今年で第7回目を迎えました。

当日は海上自衛隊から訓練支援艦「くろべ」が入港し乗船見学もでき、その他警察・消防・自衛隊の車両も数多く展示されており、主催者発表では開催期間中(5月13日、14日)天候にも恵まれて約1万人を超える来場者数がありました。当社も水島港を知ってもらうPR活動の一環として子供向け(小学高学年対象)のリーフレットを新たに作成し、来場者に説明、配布しました。

今後このような県内の催し等があれば水島港の利用促進にむけたPR活動を積極的に行ってまいります。

(水島港国際物流センター)



子供向けリーフレットを説明している様子



子供達の質問に答えている自衛官